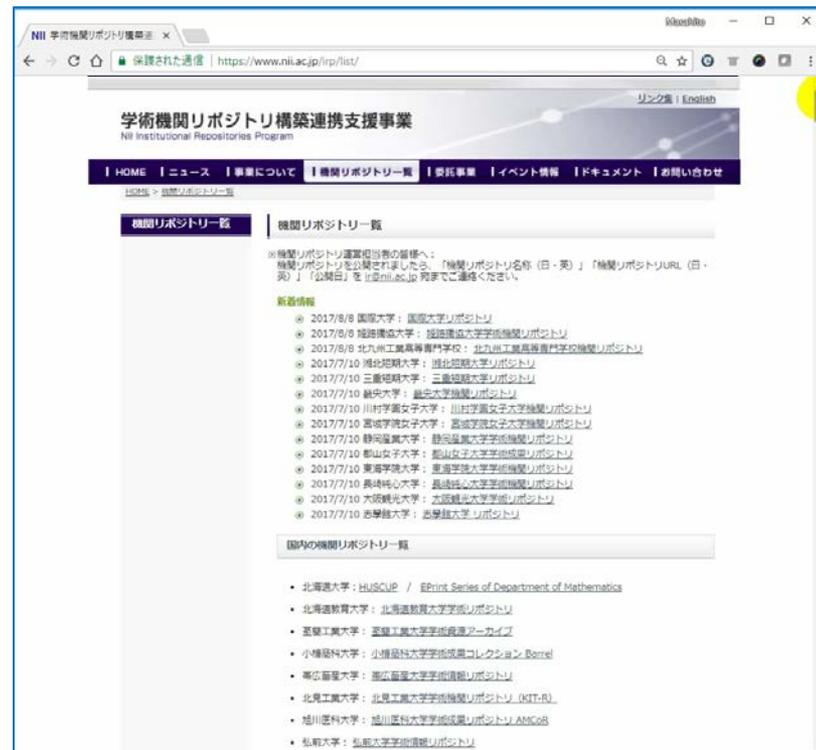
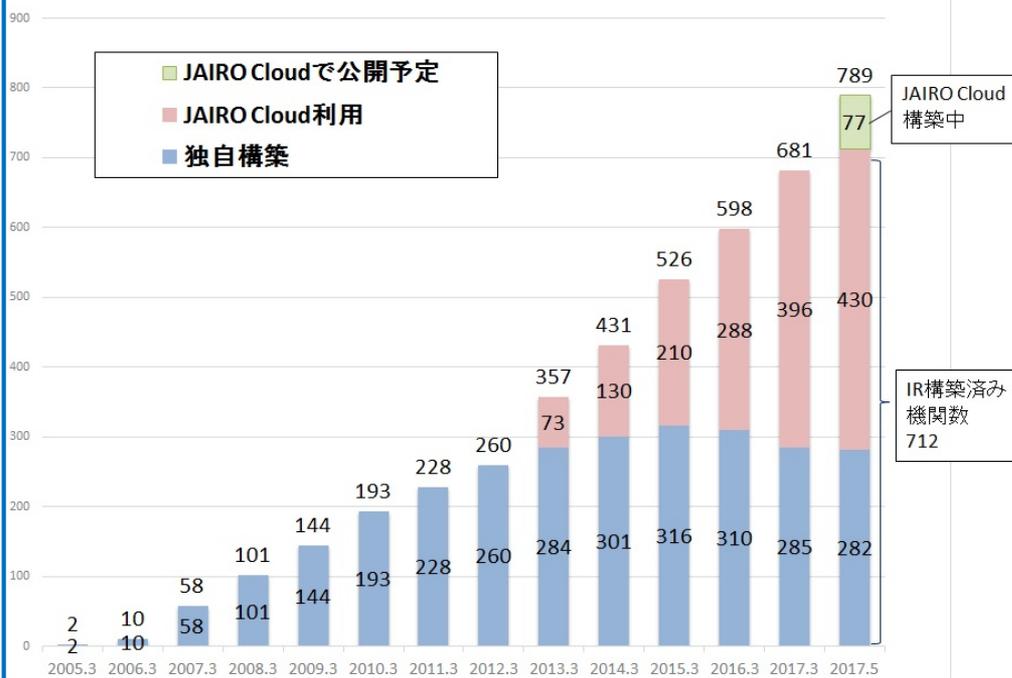


趣旨説明: 日本の機関リポジトリ

- 日本における機関リポジトリは、公開されているものだけでその数700を超えており、世界でも類を見ないくらい大きな規模に成長してきた。
- 機関リポジトリ・・・主に教育研究活動の成果である学術情報の収集・組織化・保存及び発信。→ 研究活動の過程で生み出される**研究データについても同様の仕組み(研究データリポジトリ)**を構築する必要がある。

機関リポジトリ公開数の推移



趣旨説明: 研究データリポジトリ

- 研究データリポジトリを取り巻く図書館員と研究者の現状。
- 両者の対話・協同が必要。

研究データリポジトリ

機関リポジトリ
運営の経験

機関リポジトリ
推進委員会

JPCOAR (オープン
アクセスリポジトリ
推進協会)

研究データは
どういうもの？
どう扱うのか？

研究者からのニ
ーズがある？
大学図書館が関わ
りうる余地がある？

図書館員

データマネジメント
計画 (DMP)

データベース・
メタデータ管理

研究公正

研究、教育、雑務に忙し
くて、データのオープン
化にまで手が回らない。

図書館員との
協同に考えが
至らない。

インセンティ
ブがない！

研究者

趣旨説明: 全体議論について

- 各講演の後に10-15分程度の質問時間を設けています。
- 16:40-17:10に、全登壇者への質疑応答や、全体を通じての議論の時間を予定しています。

研究者への質問

- 研究データリポジトリについて、
 - 研究者のニーズがどこにあるのか？
 - 大学図書館が関わりうる余地があるのか？
 - そもそも研究者は図書館は関わってほしいと思っているのか？

時間	内容	講師
13:00-13:10	開会挨拶/趣旨説明	<u>能勢 正仁</u> (京都大学大学院理学研究科)
13:10-13:55	研究者にとってのデータの意味と大学におけるデータ管理への期待 [講演要旨]	<u>倉田 敏子</u> (慶應義塾大学文学部)
13:55-14:40	学術リポジトリは研究者と図書館員を繋げるのか？ [講演要旨]	<u>大澤 剛士</u> (国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター)
14:40-15:00	休憩	
15:00-15:45	研究データ管理の組織的支援と図書館の役割について [講演要旨]	<u>西園 由依</u> (鹿児島大学/JPCOAR研究データTFメンバー)
15:45-16:30	新たな学術情報流通においてJPCOARスキーマが果たす役割 [講演要旨]	<u>片岡 朋子</u> (お茶の水女子大学/JPCOARメタデータ普及TFメンバー)
16:30-16:40	研究データ利活用協議会(RDUF)紹介 [講演要旨]	<u>武田 英明</u> (国立情報学研究所/研究データ利活用協議会)
16:40-17:10	全体議論	【モデレーター】 <u>能勢 正仁</u> (京都大学大学院理学研究科)
17:10-17:20	閉会挨拶	<u>安達 淳</u> (国立情報学研究所)